

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 自宅療養者支援チーム 電話番号：058-272-1111(内4797)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,548,018 千円 (現計予算額： 5,360,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	5,360,000	5,337,800	0	0	0	0	0	0	22,200
補 正 要求額	1,548,018	1,528,045	0	0	0	0	0	0	19,973
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

これまでにない大規模な感染拡大となった「第6波」を受け、本県では令和4年1月22日以降、自宅療養者支援チームを再度立ち上げ、自宅で療養する新型コロナウイルス感染症患者への支援を実施してきた。

「第6波」は令和4年2月をピークにその後高止まりとなり、6月には減少傾向もみられたが、その後「第7波」に入り、「第6波」のピークを遥かに上回る勢いで急速に感染が拡大し、過去最大の波となっている。

このような状況において、外国人の新規入国制限の撤廃や、濃厚接触者の自宅待機日数の更なる緩和が検討されていることから、自宅療養者は今後も高止まりすることが想定されるため、自宅療養者に対する健康観察や生活必需品の提供、医療機関との連携等、今後も継続した支援を実施する必要がある。

(2) 事業内容

自宅療養となった新型コロナウイルス感染症患者に対し、引き続き健康観察や物資提供等の支援を行うため、必要な体制を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

(医療費の審査支払に係る経費のみ 県10/10)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	▲ 352	職員旅費
需用費	385,740	食料等支援物資、その他事務用品の購入、各種冊子印刷等
印刷製本費	▲ 16,587	「自宅療養のしおり」製作
役務費	30,280	電話・郵便等通信運搬費
委託料	1,017,624	健康フォローアップ、電話説明、通訳・翻訳、配送業務等
使用料及び賃借料	331	衛生用品に係るリース料等
負担金、補助及び交付金	130,982	看護師報酬に係る負担金、医療機関に対する交付金
合計	1,548,018	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「ウィズ・コロナ」総合対策の実施について
(R4.5.30決定 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部)

(2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針
(R4.5.30変更 新型コロナウイルス感染症対策本部)

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養者の支援に要する経費であり、後年度の財政負担は生じない予定。

(4) 事業主体及びその妥当性

「今後の感染拡大防止について」において、自宅療養支援体制の堅持が対策のひとつとして位置付けられており、県が主体的に実施すべきものである。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

自宅療養となった新型コロナウイルス感染症患者に対し、健康観察や物資提供等の適切な支援を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	国及び県によって実施すべき感染拡大防止対策である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	国及び県によって実施すべき感染拡大防止対策である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	国が定める方針・手順に基づいて実施するものである。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 過去に例がない未曾有の情勢となっていることから、国等の動向を的確に踏まえ、柔軟に対応していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	